

令和5年度 学校経営方針

小平市立小平第七小学校長 神子知浩

学校経営の理念

学校経営の目標は、教育目標の達成である。すなわち、人間としての知・徳・体を育て、よりよく生きようとする意思をもつ子どもの育成を目指していかなければならない。その目標達成に向けて、学校は子どもの発達段階や特性を考慮して創意工夫し、特色ある教育課程を編成しその実施に努めるものとする。

公教育としての根拠

- ・日本国憲法 ・教育基本法
- ・学校教育法等の法令及び学習指導要領
- ・都・市の教育目標

目指す学校の姿

子どもも大人も笑顔と思いやりがいっぱいの学校

子ども・保護者・地域の願い

- ・楽しい学校 ・活力のある学校
- ・安全安心な学校 ・開かれた学校
- ・子どもが健やかに成長する学校

「子どもの笑顔と思いやり」を実現するために

- 子どもが豊かに関わり合う学級経営
- 主体的に学び、相互に高め合う授業
- 自他を尊重し、認め合う態度の育成

「保護者・地域の笑顔と思いやり」を実現するために

- 安全・安心で落ち着いた学校の雰囲気づくり
- 何事にも前向きにチャレンジする気運の醸成
- 保護者・地域と相互に支え合う主体的な連携

「教職員の笑顔と思いやり」を実現するために

- 教職員相互が温かく関わる働き方
- 専門性を高める時間の確保
- 全体の奉仕者としての自覚の徹底

教育目標

重点目標

よく考える子

よい考えいっぱい 他者と考えを深め合える子

いつも元気な子

あいさついっぱい すすんで行動しようとする子

こころのやさしい子

思いやりいっぱい 相手の気持ちを考えられる子

教育目標の達成のために

確かな学力の定着と向上

「主体的・対話的で深い学び」を大切に、他者の考えを聞きながら、自分の考えを確かなものにできる児童の育成を目指す。

- ① 学習内容の定着のために、分かるまで教える授業
- ② 主体的・対話的で深い学びに資する「学習プロセス」の活用
- ③ 「表現力」を高める指導及び言語活動の充実
- ④ 放課後子ども教室との連携及びCSにおける協議
- ⑤ 七小支援ネットや地域の教育力を生かした指導の工夫

たくましく生きる力の育成

「日常的な挨拶の指導」を徹底し、いつでも、どんなことにも、すすんで粘り強く取り組むことができる児童の育成を目指す。

- ① 「あいさつが飛び交う学校」づくり
- ② 地域行事、諸作品募集等に対する積極的な取組の促進
- ③ 運動の日常化と体育的活動の充実
- ④ 専門的知識を導入した健康教育・食育の実施
- ⑤ 生活点検表の活用等、家庭との連携

豊かな心の育成

「人権を尊重する学級経営」を進め、自他の生命を大切にするとともに、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成を目指す。

- ① 「特別の教科 道徳」の研究成果を生かした道徳科の充実
- ② 人権意識を高める指導・環境づくり
- ③ 学校内外の組織と連携した生活指導
- ④ 七小スタンダードを基に規範意識の定着
- ⑤ 朝会・集会を活用した挨拶や集団行動の指導

情報教育の推進

- ① 視覚的に分かりやすい授業とタブレットの積極的活用
- ② 情報モラル教育を進め、情報選択・活用能力を育成

特別支援教育の充実

- ① 特別支援教室の有効活用・連携した指導と研修の実施
- ② 校内委員会の充実と特別支援教室担任との情報共有
- ③ 関係諸機関や幼保中学校及び家庭と連携し継続した支援体制

キャリア教育の推進

- ① 「七小の顔」の意識の育成
- ② たてわり班活動・セリンピックの充実
- ③ 心の教育のカリキュラムマネジメント

研究・研修の活性化

- ① 教科担任制のための学年会・校内研究
- ② 「表現力」を高める実践的な研究
- ③ 校内OJT研修会
- ④ 相互授業参観及び研修報告会
- ⑤ 危機管理対応研修

コミュニティ・スクールの推進

- ① 3校連絡協議会や合同CSを活用し、様々な課題へ対応
- ② 各プロジェクトチームと教員が連携し、よりよい教育活動を展開
- ③ 関係の幼稚園、保育園との交流学習の推進と近隣小・中学校との交流活動を実施
- ④ コミュニティ・スクールの活動を広報し、より多くの方々の理解と協力を得る

教職員の姿勢

- 児童を心から慈しみ理解し、よさや個性を引き出し、伸ばす
- 日々研鑽に努めると共に、協働して磨き合う
- 地域を愛し、地域や保護者と共感し、積極的に対話しながら保護者や地域の信頼に応える